

デジタイズソフト 使用手引書

V1.13 2022. 4. 20

(株)フォーアシスト

目次

1. 機能概略
2. 動作環境・注意事項
3. ソフトウェアのインストール・アンインストール・起動・終了方法
4. 画面遷移
5. ソフトウェアの画面毎の説明
6. 入出力ファイルの説明

1. 機能概略

本ソフトは、動画ファイルをコマ画像表示し登録ポイントの座標をコマ毎に指定することで、動画上の動きを数値化（2次元）するものです。コマ画像とポイント情報及びスティック情報を重ねて表示します。コマ画像に対し拡大・縮小・平行移動ができます。画面情報を静止画に出力したり、登録した以下の各種情報をファイルに保存します。

登録できる情報はオプションによって変わります。

●基本情報

ポイント、スティック、基本情報のファイル変換機能(G-Dig→Frame DIAS)

●基本情報+自動デジタイズオプション

ポイント、スティック、自動デジタイズ機能、基本情報のファイル変換機能(G-Dig→Frame DIAS)

●基本情報+解析オプション

ポイント、スティック、角度、傾斜角、2点間距離、移動距離、速度、キャリブレーション機能、基本情報のファイル変換機能(G-Dig→Frame DIAS)、解析情報のファイル変換機能(G-Dig→Power Lab)

●基本情報+解析オプション+PoseCap 連携オプション

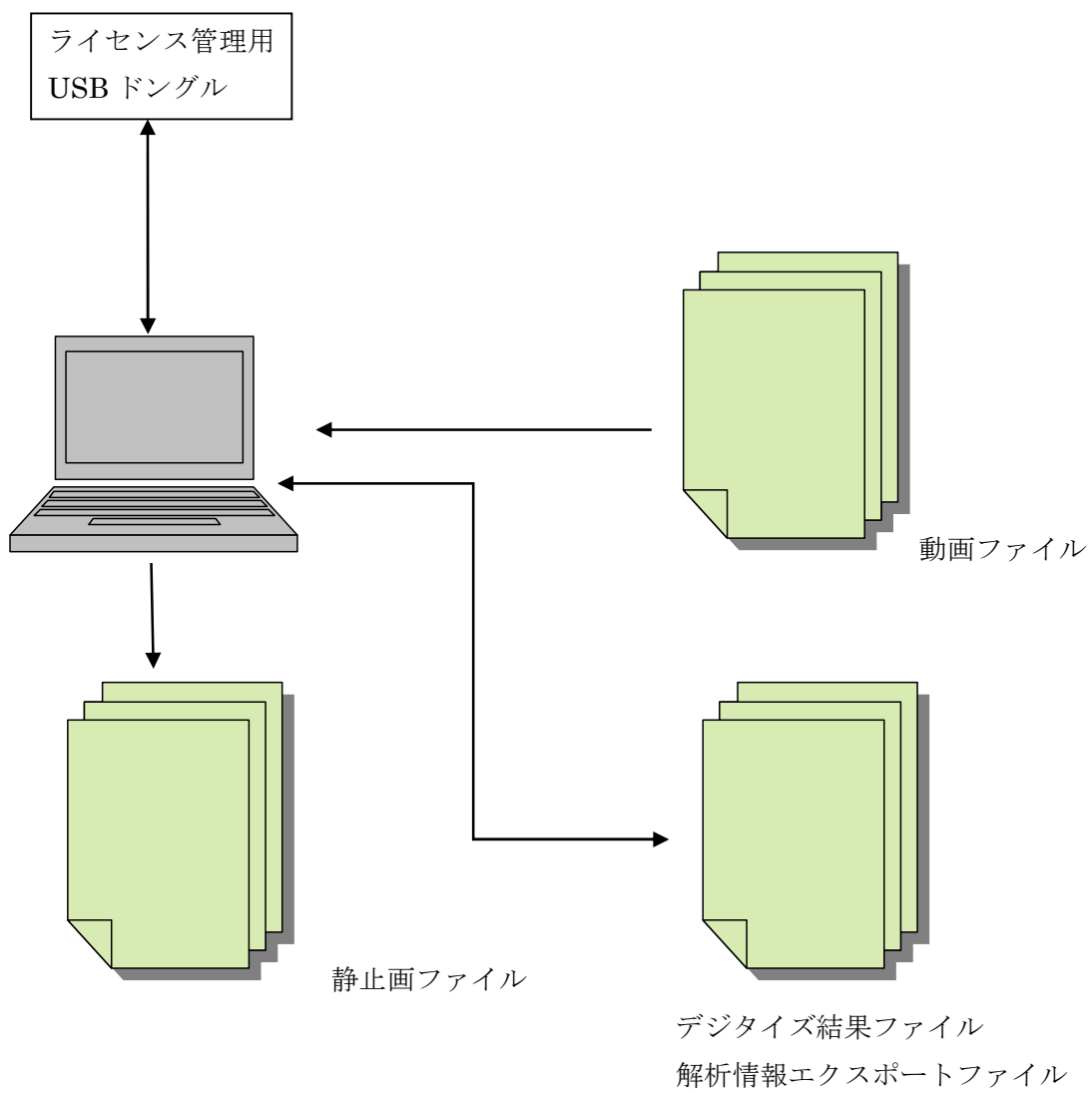
ポイント、スティック、角度、傾斜角、2点間距離、移動距離、速度、キャリブレーション機能、PoseCap 連携機能、基本情報のファイル変換機能(G-Dig→Frame DIAS)、解析情報のファイル変換機能(G-Dig→Power Lab)

本ソフトは、圧縮方式（コーデック）motionJPEG、拡張子 avi のファイルのみを対象とします。

他の圧縮方式（コーデック）の動画の場合は、変換ソフトウェア「Xmedia Recode」をつかって、motionJPEG、拡張子 avi のファイルに変換してご利用ください。（インストールCDの「動画ファイル_AVI-Motion JPEG 変換手順.pdf」を参照して下さい。）

変換ソフトウェア「Xmedia Recode」は、インストールCDの「デジタイズ関連フリーソフト¥XMediaRecode3545_x64_setup.exe」からインストールして下さい。

本ソフトを使うには、ライセンス管理用 USB ドングル（同梱）が必要になります。



【全体構成図】

2. 動作環境・注意事項

- 動作環境は以下の通りです。

OS : Windows10, Windows7

画面サイズ : 1024×768pixel 以上

接続ポート : USB ポート

読込動画コンテナ : avi

読込動画 decoder : motionJPEG

書込静止画 encoder : jpg/tif/gif/png/wmp/bmp

開発言語 : VisualStudio2017 Visual C++

- 構成品 :

①ライセンス管理用 USB ドングル

②インストール CD-ROM

- 注意事項

①motionJPEG 以外の H.264/DV/MS-MPEG4 v1/MS-MPEG4 v2/MS-MPEG4 v3 圧縮方式（コーデック）した動画の場合、コマ戻りに時間がかかります。

②H.264 圧縮方式（コーデック）した動画の場合、「動かないコマ」が発生することがあるため利用しないでください。

3. ソフトウェアのインストール・アンインストール・起動・終了方法

●インストール方法

①本ソフトウェアの以前のバージョンがインストールされているマシンの場合は、「コントロールパネル」の「プログラムの追加と削除」で、アンインストールしてください。プログラム名は「G-Dig」です。

②インストールCDをCDドライブに入れると自動的にプログラムが起動します。自動起動しない場合は、インストールCDを開き、「Program¥Setup32new.msi」を実行します。

③インストーラに従ってインストールを行います。選択時は「はい」を選んでください。

●アンインストール方法

①「コントロールパネル」の「プログラムの追加と削除」で、アンインストールしてください。プログラム名は「Digitize」です。

●インストール先フォルダ

【Win10(32bit)】

Program Files¥4assist¥Digitize¥G-Dig.exe 等

Users¥<ユーザ名>¥AppData¥Roaming¥4assist¥Digitize¥G-Dig.ini

【Win10(64bit)】

Program Files (x86)¥4assist¥Digitize¥G-Dig.exe 等

Users¥<ユーザ名>¥AppData¥Roaming¥4assist¥Digitize¥G-Dig.ini

【Win7(32bit)】

Program Files¥4assist¥Digitize¥G-Dig.exe 等

user¥<ユーザ名>¥AppData¥Roaming¥4assist¥Digitize¥G-Dig.ini 等

【Win7(64bit)】

Program Files(x86)¥4assist¥Digitize¥G-Dig.exe 等

user¥<ユーザ名>¥AppData¥Roaming¥4assist¥Digitize¥G-Dig.ini 等

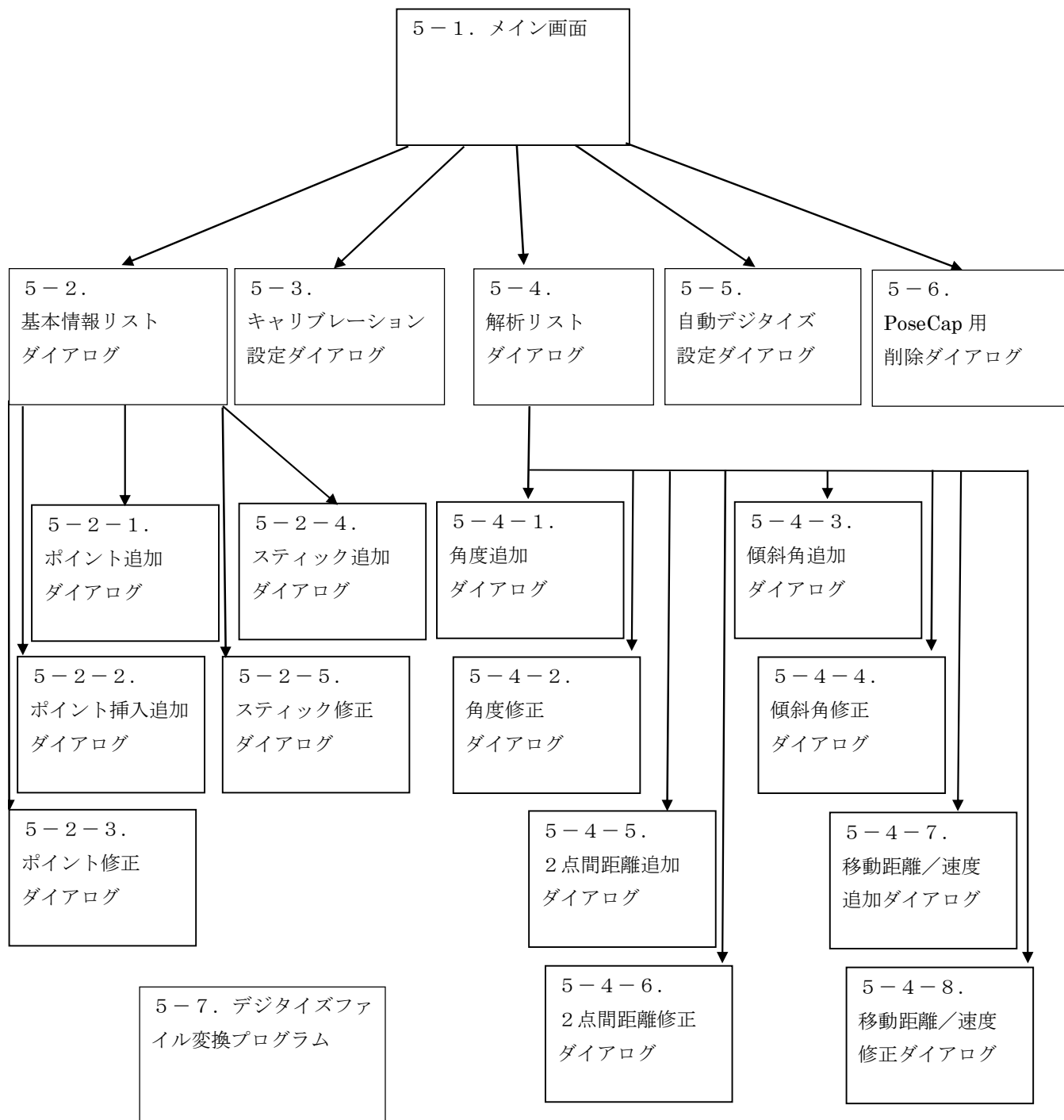
●起動方法

デスクトップの「デジタルソフト」または、スタートメニューから「すべてのプログラム-4assist-G-Dig-デジタルソフト」を選択してプログラムを起動します。

●終了方法

ソフトウェアの最初の画面で終了ボタンを選択すると、ソフトウェアが終了します。

4. 画面遷移



【画面構成図】

4-1. 通常操作手順

- ①ライセンス管理用 USB ドングルを P C につなげて、デジタイズソフトを起動します。
- ②ファイル(F)－動画ファイルの読み込み...(R) (ツールバー有) を選択し、動画ファイルを選択します。
- ③メイン画面左 View 表にデフォルトポイント情報を表示し、メイン画面右 View に動画先頭コマを表示します。
- ④設定(S)－基本設定ダイアログ...(P)を選択し、基本情報リストダイアログを表示しポイント／スティック情報を指定します。(5-2 参照)
- ⑤解析オプション付きであれば、設定(S)－キャリブレーション設定ダイアログ...(C)を選択し、キャリブレーション設定ダイアログを表示しキャリブレーション方法を指定します。(5-3 参照)
- ⑥解析オプション付きでキャリブレーション設定が終わると、設定(S)－解析設定ダイアログ...(A)を選択し、解析リストダイアログを表示し角度／傾斜角／2 点間距離／移動距離／速度情報を指定します。(5-4 参照)
- ⑦マウススクロールまたは、キーボードの上下キーでコマを移動して、メイン画面右 View 下の開始コマボタンを使ってデジタイズ開始コマを指定します。
- ⑧マウススクロールまたは、キーボードの上下キーでコマを移動して、メイン画面右 View 下の終了コマボタンを使ってデジタイズ終了コマを指定します。
- ⑨操作(O)－デジタイズモード(D) (ツールバー有) を選択し、デジタイズ操作を開始します。
- ⑩メイン画面右 View 上でマウス左クリックするとカレントポイントの座標情報が確定し、メイン画面左 View 表に座標値が追加されます。カレントポイントが動いて次のマウス左クリック待ちになります。メイン画面右 View 上でマウス右ドラッグ上下で画像の拡大・縮小、マウス両ドラッグで画像の並行移動ができます。
- ⑪デジタイズ操作を終了するには、再度、操作(O)－デジタイズモード(D) (ツールバー有) を選択します。
- ⑫デジタイズ情報をファイルに出力する為に、ファイル(F)－名前をつけて保存...(A)を選択し、出力するデジタイズ結果ファイルを指定します。
- ⑬解析オプション付きであれば、解析情報をファイルに出力する為に、ファイル(F)－解析情報エクスポート...(E)を選択し、出力する解析情報エクスポートファイルを指定します。
- ⑭動画を変えてデジタイズ処理を繰り返す場合は、操作(O)－座標と画像のクリア(C)を選択し、②に戻ります。
- ⑮ファイル保存後にデジタイズソフトを終了します。
- ⑯ライセンス管理用 USB ドングルを P C から外します。

4-2. 自動デジタイズ操作手順（自動デジタイズオプション付き）

①ライセンス管理用 USB ドングルを PC につなげて、デジタイズソフトを起動します。

②ファイル(F)－動画ファイルの読み込み...(R)（ツールバー有）を選択し、動画ファイルを選択します。

③メイン画面左 View 表にデフォルトポイント情報を表示し、メイン画面右 View に動画先頭コマを表示します。

④設定(S)－基本設定ダイアログ...(P)を選択し、基本情報リストダイアログを表示しポイント／スティック情報を指定します。（5-2 参照）

⑤解析オプション付きであれば、設定(S)－キャリブレーション設定ダイアログ...(C)を選択し、キャリブレーション設定ダイアログを表示しキャリブレーション方法を指定します。（5-3 参照）

⑥解析オプション付きでキャリブレーション設定が終わると、設定(S)－解析設定ダイアログ...(A)を選択し、解析リストダイアログを表示し角度／傾斜角／2 点間距離／移動距離／速度情報を指定します。（5-4 参照）

⑦マウススクロールまたは、キーボードの上下キーでコマを移動して、メイン画面右 View 下の開始コマボタンを使ってデジタイズ開始コマを指定します。

⑧マウススクロールまたは、キーボードの上下キーでコマを移動して、メイン画面右 View 下の終了コマボタンを使ってデジタイズ終了コマを指定します。

⑨操作(O)ーデジタイズモード(D) (ツールバー有) を選択し、デジタイズ操作を開始します。

⑩操作(O)ー自動デジタイズモード(A) (ツールバー有) を選択すると、自動デジタイズ操作を開始します。自動デジタイズ設定ダイアログが出て、マウス位置に矩形が現れます。この矩形内は2値化閾値で白黒に変換した画像で、矩形内の十字位置が検出したデジタイズ位置になります。

⑪マウスを対象の反射マーカークの位置に移動し、2値化閾値や矩形サイズを1～6キーを使って変更し、正しいデジタイズ位置が検出できるようにします。スペースキーを押すと、自動デジタイズを開始します。(連続検出) また、このタイミングマウス左クリックすると、自動検出したデジタイズ位置を登録して次のコマに移ります。(1コマ検出)

デジタイズ位置(反射マーカーク)が見つからないときは自動デジタイズ設定ダイアログが現れます。

◎探索位置がずれた場合は、⑪に戻ります。

◎動きによって反射マーカークの色が薄くなった場合は、1,2キーで2値化の閾値を変更します。⑪に戻ります。

◎開始コマに戻った場合も、このダイアログが出ます。⑪に戻ります。

反射マーカーク以外の場所を検出したときは、どんどん進んでしまうので **Esc Key** を押して自動デジタイズモードを終わらせます。左の **View** の表をたどって間違えた場所に戻ります。

◎探索位置がずれた場合は、⑩に戻ります。

◎動きによって反射マーカークの色が薄くなった場合は、1,2キーで2値化の閾値を変更します。⑩に戻ります。

⑫自動デジタイズ操作を終了するには、再度、操作(O)ー自動デジタイズモード(A) (ツールバー有) を選択、または **Esc Key** を押します。

⑬デジタイズ操作を終了するには、再度、操作(O)ーデジタイズモード(D) (ツールバー有) を選択します。

⑭デジタイズ情報をファイルに出力する為に、ファイル(F)ー名前をつけて保存...(A)を選択し、出力するデジタイズ結果ファイルを指定します。

⑮解析オプション付きであれば、解析情報をファイルに出力する為に、ファイル(F)ー解析情報エクスポート...(E)を選択し、出力する解析情報エクスポートファイルを指定します。

⑯動画を変えてデジタイズ処理を繰り返す場合は、操作(O)ー座標と画像のクリア(C)を選択し、②に戻ります。

⑰ファイル保存後にデジタイズソフトを終了します。

⑱ライセンス管理用 USB ドングルをPCから外します。

4-3-1. PoseCap 連携操作手順1【データを一人分だけ残す方法】(PoseCap 連携オプション付き)

- ①ライセンス管理用 USB ドングルをPCにつなげて、デジタイズソフトを起動します。
- ②ファイル(F)→既存ファイルを開く...(O)を選択し、PoseCap が生成した G-Dig ファイルを選択します。
- ③メイン画面左 View 表にポイント情報を表示し、メイン画面右 View に動画先頭コマを表示します。
- ④マウススクロールまたは、キーボードの上下キーでコマを移動します。
- ⑤操作(O)→デジタイズモード(D) (ツールバー有) を選択し、デジタイズ操作を開始します。
- ⑥開始コマに戻って、残したい人のいずれかのポイントを、シフトキーを押しながらマウス左ボタンをクリックして、カレントポイントにします。
- ⑦操作(O)→PoseCap データ操作(P)→カレント人と1番人を入替(1) (ツールバー、ショートカットキー有) を選択し、カレント人を1番人に入れ替えます。
- ⑧キーボードの下キーでコマを移動します。残したい人がカレントポイントになっていれば、⑦に戻ります。残したい人がカレントポイントになっていなければ、⑥に戻ります。
- ⑨全てのコマで残したい人を1番人に入れ替えた後に、操作(O)→PoseCap データ操作(P)→1番人以外を削除(9) (ツールバー、ショートカットキー有) を選択し、1番人以外の情報を削除します。
- ⑩デジタイズ操作を終了するには、再度、操作(O)→デジタイズモード(D) (ツールバー有) を選択します。
- ⑪デジタイズ情報をファイルに出力する為に、ファイル(F)→名前をつけて保存...(A)を選択し、出力するデジタイズ結果ファイルを指定します。
- ⑫ファイル保存後にデジタイズソフトを終了します。
- ⑬ライセンス管理用 USB ドングルをPCから外します。

4-3-2. PoseCap 連携操作手順2【データを2人分だけ残す方法】(PoseCap 連携オプション付き)

①ライセンス管理用 USB ドングルをPCにつなげて、デジタイズソフトを起動します。

②ファイル(F)→既存ファイルを開く...(O)を選択し、PoseCap が生成した G-Dig ファイルを選択します。

③メイン画面左 View 表にポイント情報を表示し、メイン画面右 View に動画先頭コマを表示します。

④マウススクロールまたは、キーボードの上下キーでコマを移動します。

⑤操作(O)→デジタイズモード(D) (ツールバー有) を選択し、デジタイズ操作を開始します。

⑥開始コマに戻って、残したい人のいずれかのポイントを、シフトキーを押しながらマウス左ボタンをクリックして、カレントポイントにします。

⑦操作(O)→PoseCap データ操作(P)→カレント人と1番人を入替(1) (ツールバー、シュートカットキー有) を選択し、カレント人を1番人に入れ替えます。

⑧キーボードの下キーでコマを移動します。残したい人がカレントポイントになっていれば、⑦に戻ります。残したい人がカレントポイントになっていなければ、⑥に戻ります。

⑨開始コマに戻って、次に残したい人のいずれかのポイントを、シフトキーを押しながらマウス左ボタンをクリックして、カレントポイントにします。

⑩操作(O)→PoseCap データ操作(P)→カレント人と2番人を入替(2) (ツールバー、シュートカットキー有) を選択し、カレント人を2番人に入れ替えます。

⑪キーボードの下キーでコマを移動します。残したい人がカレントポイントになっていれば、⑦に戻ります。残したい人がカレントポイントになっていなければ、⑥に戻ります。

⑫全てのコマで残したい人を2番人に入れ替えた後に、操作(O)→PoseCap データ操作(P)→1番人と2番人以外を削除(8) (ツールバー、シュートカットキー有) を選択し、1番人と2番人以外の情報を削除します。

⑬デジタイズ操作を終了するには、再度、操作(O)→デジタイズモード(D) (ツールバー有) を選択します。

⑭デジタイズ情報をファイルに出力する為に、ファイル(F)→名前をつけて保存...(A)を選択し、出力するデジタイズ結果ファイルを指定します。

⑮ファイル保存後にデジタイズソフトを終了します。

⑯ライセンス管理用 USB ドングルをPCから外します。

4-3-3. PoseCap 連携操作手順3【矩形内／外にいる人を削除する方法】(PoseCap 連携オプション付き)

- ①ライセンス管理用 USB ドングルをPCにつなげて、デジタイズソフトを起動します。
- ②ファイル(F)→既存ファイルを開く...(O)を選択し、PoseCap が生成した G-Dig ファイルを選択します。
- ③メイン画面左 View 表にポイント情報を表示し、メイン画面右 View に動画先頭コマを表示します。
- ④マウススクロールまたは、キーボードの上下キーでコマを移動します。
- ⑤操作(O)→デジタイズモード(D) (ツールバー有) を選択し、デジタイズ操作を開始します。
- ⑥開始コマに戻って、残したい人のいずれかのポイントを、シフトキーを押しながらマウス左ボタンをクリックして、カレントポイントにします。
- ⑦操作(O)→PoseCap データの矩形削除(R) (ツールバー有) を選択します。PoseCap 用削除ダイアログが出て、メイン画面右 View 上に薄緑の矩形が現れます。
- ⑧メイン画面右 View 上でマウスドラッグするとその場所が薄緑の矩形になります。
- ⑨矩形内にいる人を削除したい場合は、PoseCap 用削除ダイアログの矩形内削除ボタンを押します。矩形内にいる人以外を削除したい場合は、PoseCap 用削除ダイアログの矩形外削除ボタンを押します。矩形内／外にいる人の情報を削除します。
- ⑩操作(O)→PoseCap データの矩形削除(R) (ツールバー有) を再度選択するか、Esc Key を押すと、PoseCap 用削除ダイアログが消え、デジタイズモードの操作に戻ります。
- ⑪デジタイズ操作を終了するには、再度、操作(O)→デジタイズモード(D) (ツールバー有) を選択します。
- ⑫デジタイズ情報をファイルに出力する為に、ファイル(F)→名前をつけて保存...(A)を選択し、出力するデジタイズ結果ファイルを指定します。
- ⑬ファイル保存後にデジタイズソフトを終了します。
- ⑭ライセンス管理用 USB ドングルをPCから外します。

4-3-4. PoseCap 連携操作手順4【その他の機能】(PoseCap 連携オプション付き)

- ①ライセンス管理用 USB ドングルを P C につなげて、デジタイズソフトを起動します。
- ②ファイル(F)ー既存ファイルを開く...(O)を選択し、PoseCap が生成した G-Dig ファイルを選択します。
- ③メイン画面左 View 表にポイント情報を表示し、メイン画面右 View に動画先頭コマを表示します。
- ④マウススクロールまたは、キーボードの上下キーでコマを移動します。
- ⑤操作(O)ーデジタイズモード(D) (ツールバー有) を選択し、デジタイズ操作を開始します。
- ⑥マウス左ボタンだけをクリックすると、カレントコマのカレントポイントの座標がクリック位置になります。
- ⑦シフトキーを押しながらマウス左ボタンをクリックすると、選んだポイントがカレントポイントになります。表示しない場合は p key を押してください。
- ⑧シフトキーを押しながらマウス右ボタンをクリックすると、選んだポイントの軌跡線を表示します。表示しない場合は t key を押してください。
- ⑨操作(O)ーPoseCap データ操作(P)ーカレント人の腕座標を左右入替(A) (ツールバー、ショートカットキー有) を選択すると、カレント人の右腕と左腕を入れ替えます。
- ⑩操作(O)ーPoseCap データ操作(P)ーカレント人の脚座標を左右入替(L) (ツールバー、ショートカットキー有) を選択すると、カレント人の右脚と左脚を入れ替えます。
- ⑪デジタイズ操作を終了するには、再度、操作(O)ーデジタイズモード(D) (ツールバー有) を選択します。
- ⑫デジタイズ情報をファイルに出力する為に、ファイル(F)ー名前をつけて保存...(A)を選択し、出力するデジタイズ結果ファイルを指定します。
- ⑬ファイル保存後にデジタイズソフトを終了します。
- ⑭ライセンス管理用 USB ドングルを P C から外します。

5. ソフトウェアの画面毎の説明

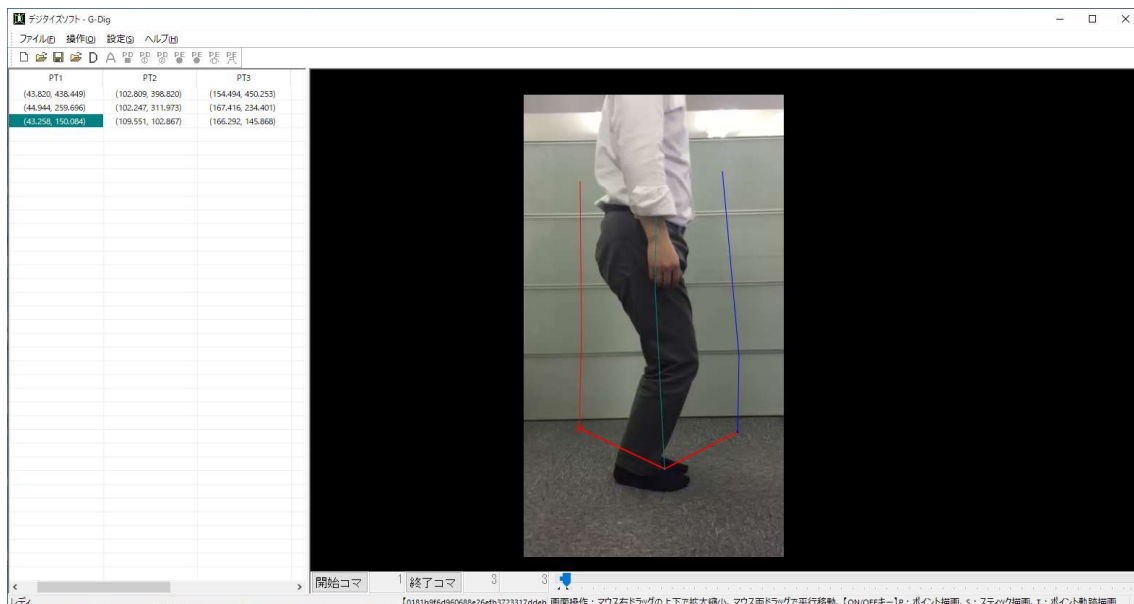
デジタイズソフトを起動します。「5－1. メイン画面」が現れます。

5－1. メイン画面

メイン画面は左右2つの View を持ちます。

左の View に、ポイントの座標と角度の表をデジタイズ対象コマ分表示します。

右の View に、動画のコマ画像を表示します。右 View 下部に開始コマボタンと終了コマボタン、コマ移動用スライダーがあります。右 View 上でマウス右ドラッグ上下で画像の拡大・縮小、マウス両ドラッグで画像の並行移動ができます。P キーでポイント描画の ON/OFF、S キーでライン描画の ON/OFF、T キーでポイント軌跡線描画の ON/OFF ができます。



●ファイル(F)メニュー

①ファイル(F)-新規(N) なにも設定されていない、新規画面になります。【ツールバー有】

②ファイル(F)-既存ファイルを開く...(O) ファイル選択ダイアログが現れ、選択したデジタイズ結果ファイルを画面に反映します。【ツールバー有】

③ファイル(F)-上書き保存(S) ファイル指定ダイアログが現れ、指定したファイルにデジタイズ結果を出力します。【ツールバー有】

④ファイル(F)-名前をつけて保存...(A) ファイル指定ダイアログが現れ、指定したファイルにデジタイズ結果を出力します。

⑤ファイル(F)-コピー(C) クリップボードにデジタイズ結果をコピーします。

⑥ファイル(F)-動画ファイルの読み込み...(R) ファイル選択ダイアログが現れ、選択した動画ファイルの先頭コマを画面右 View に表示します。【ツールバー有】

⑦ファイル(F)-画面イメージのファイル出力...(S) ファイル指定ダイアログが現れ、指定した静止画ファイルに画面右 **View** イメージを出力します。背景図の描画チェックを外すと背景図なしの画像になります。

⑧ファイル(F)-骨格設定ファイルの読み込み...(I) ファイル選択ダイアログが現れ、選択した骨格設定ファイルを使って、基本設定情報と解析設定情報を構築して、新規画面にします。

⑨ファイル(F)-骨格設定ファイルを保存...(H) ファイル指定ダイアログが現れ、指定したファイルに骨格設定（基本設定情報と解析設定情報）を出力します。このファイルは **Pose-Cap** の骨格設定ファイルにもなります。

Pose-Cap が作成したデジタイズ結果ファイルから骨格設定ファイルを作成する場合は、人情報を一人にしてから行ってください。

⑩ファイル(F)-校正設定ファイルの読み込み...(F) ファイル選択ダイアログが現れ、選択した校正設定ファイルを使って、キャリブレーション設定情報を構築します。

⑪ファイル(F)-校正設定ファイルを保存...(G) ファイル指定ダイアログが現れ、指定したファイルに校正設定（キャリブレーション設定情報）を出力します。このファイルは **Pose-Cap** の校正設定ファイルにもなります。

⑫ファイル(F)-解析情報エクスポート...(E) ファイル指定ダイアログが現れ、指定したファイルに解析情報を出力します。

⑬ファイル(F)-アプリケーションの終了(X) アプリケーションを終了します。

●操作(O)メニュー

設定ダイアログを表示し、各種設定を行います。

①操作(O)-デジタイズモード(D) デジタイズ操作の開始／終了を行います。【ツールバー有】

②操作(O)-自動デジタイズモード(A) 自動デジタイズ操作の開始／終了を行います。
【ツールバー有、Esc Key 対応】「5-5. 自動デジタイズ設定ダイアログ」が現れます。
自動デジタイズオプションが必要です。

③操作(O)-PoseCap データの矩形削除(R) PoseCap データの矩形削除の開始／終了を行います。【ツールバー有、Esc Key 対応】「5-6. PoseCap 用削除ダイアログ」が現れます。
PoseCap 連携オプションが必要です。

④操作(O)-PoseCap データ操作(P)-カレント人と1番人を入替(1) カレント人を1番人に入れ替えます。【ツールバー、シュートカットキー有】 PoseCap 連携オプションが必要です。

⑤操作(O)-PoseCap データ操作(P)-カレント人と2番人を入替(2) カレント人を2番人に入れ替えます。【ツールバー、シュートカットキー有】 PoseCap 連携オプションが必要です。

⑥操作(O)-PoseCap データ操作(P)-1番人と2番人以外を削除(8) 1番人と2番人以外の情報を削除します。【ツールバー、シュートカットキー有】 PoseCap 連携オプションが必要です。

⑦操作(O)-PoseCap データ操作(P)-1番人以外を削除(9) 1番人以外の情報を削除します。【ツールバー、シュートカットキー有】 PoseCap 連携オプションが必要です。

⑧操作(O)-PoseCap データ操作(P)-カレント人の腕座標を左右入替(A) カレント人の右腕と左腕を入れ替えます。【ツールバー、シュートカットキー有】 PoseCap 連携オプションが必要です。

⑨操作(O)-PoseCap データ操作(P)-カレント人の脚座標を左右入替(L) カレント人の右脚と左脚を入れ替えます。【ツールバー、シュートカットキー有】 PoseCap 連携オプションが必要です。

⑩操作(O)-描画切替(E)-ポイント描画(P) ポイント描画の ON/OFF を入れ替えます。【シュートカットキー有】

⑪操作(O)-描画切替(E)-スティック描画(S) スティック描画の ON/OFF を入れ替えます。【シュートカットキー有】

⑫操作(O)-描画切替(E)-ポイント軌跡線描画(T) ポイント軌跡線描画の ON/OFF を入れ替えます。【シュートカットキー有】

⑬操作(O)-座標と画像のクリア(C) 動画を変えてデジタイズ処理を繰り返す場合に利用します。

⑭操作(O)-画像表示の初期化(I) 画面右 View の拡大縮小／平行移動情報をクリアしま

す。

●設定(S)メニュー

設定ダイアログを表示し、各種設定を行います。

①設定(S)・基本設定ダイアログ...(P) 「5-2. 基本情報リストダイアログ」に移動します。

②設定(S)・キャリブレーション設定ダイアログ...(C) 「5-3. キャリブレーション設定ダイアログ」に移動します。解析オプションが必要

③設定(S)・解析設定ダイアログ...(A) 「5-4. 解析リストダイアログ」に移動します。解析オプションが必要です。

●ヘルプ(H)メニュー

①ヘルプ(H)・バージョン情報 G-Dig(A)... バージョン情報を表示します。

②ヘルプ(H)・ToolBar の表示(T)... ツールバーの表示／非表示を切り替えます。

●開始コマボタン

現在表示中のコマをデジタイズ開始コマに設定します。デジタイズ終了コマより後ろのコマは指定できません。

●終了コマボタン

現在表示中のコマ（カレントコマ）をデジタイズ終了コマに設定します。デジタイズ開始コマより手前のコマは指定できません。

●コマ移動用スライダー

任意の位置にカレントコマを移動できます。

5-2. 基本情報リストダイアログ

「5-1. メイン画面」で「設定(S)-基本設定ダイアログ...(P)」を選んだときに現れます。

基本情報リスト

×

デジタイズ時のカーソル移動方向
 ☒ ↓
 ☐ →
 ☐ カーソル予測移動
 カレントポイントサイズ:

【ポイント情報】

名前	色	ポイントサイズ	軌跡線	線幅	線形補間	フィルター	遮断周波数(Hz)
PT1		3	あり	1	なし	なし	----
PT2		3	あり	1	なし	なし	----
PT3		3	あり	1	なし	なし	----

【スティック情報】

名前	色	線幅	表示方法	ポイント列
ST1		2	カレントフレーム	PT1 - PT2 - PT3

OK

●デジタイズ時のカーソル移動方向

デジタイズモードの時、カレントコマでマウス左クリックして対象のポイント座標を指定したあとに次のコマに移るか(↓) 次のポイントに移るか(→)を指定します。

●カーソル予測移動

選択するとデジタイズモード時に、前々フレーム座標と前フレーム座標から座標値を予想してカーソルを移動します。

●カレントポイントサイズ

カレント位置のポイントを表す円のサイズを指定します。(1-25)

●ポイント情報

登録済みのポイント一覧を表示します。

◎名称（ポイント毎）

ポイント名称を表示します。

◎色（ポイント毎）

ポイント・軌跡線色を表示します。

◎ポイントサイズ（ポイント毎）

ポイント円のサイズをドット単位で表示します。

◎軌跡線（ポイント毎）

ポイントの軌跡線を表示するかどうかを示します。

◎線幅（ポイント毎）

ポイントの軌跡線幅をドット単位で表示します。

◎線形補間（ポイント毎）

座標未設定のフレームを前後のフレームから線形補間するかどうかを示します。

◎フィルター（ポイント毎）

座標に対してバターワースローパスフィルターするかどうかを示します。

◎遮断周波数(Hz)（ポイント毎）

座標に対してバターワースローパスフィルターする場合の遮断周波数を示します。

◎追加ボタン

新たにポイントを追加するために、「5－2－1. ポイント追加ダイアログ」に移動します。

◎挿入追加ボタン

新たにポイントを既存ポイントの前に挿入するために、「5－2－2. ポイント挿入追加ダイアログ」に移動します。

◎修正ボタン

一覧内で選択中のポイントを修正するために、「5－2－3. ポイント修正ダイアログ」に移動します。

◎削除ボタン

一覧内で選択中のポイントを削除します。対象ポイントがスティック等の要素になっている場合、削除確認ダイアログが現れます。ここで「はい」を選択するとリンク先を含めて削除します。

●スティック情報

登録済みのスティック一覧を表示します。

◎名称（スティック毎）

スティック名称を表示します。

◎色（スティック毎）

スティック色を表示します。

◎線幅（スティック毎）

スティック線幅をドット単位で表示します。

◎表示方法（スティック毎）

スティックを表示する方法を示します。

◎ポイント列（スティック毎）

スティックを構成するポイントをポイント名列で表示します。

◎追加ボタン

新たにスティックを追加するために、「5－2－4．スティック追加ダイアログ」に移動します。

◎修正ボタン

一覧内で選択中のスティックを修正するために、「5－2－5．スティック修正ダイアログ」に移動します。

◎削除ボタン

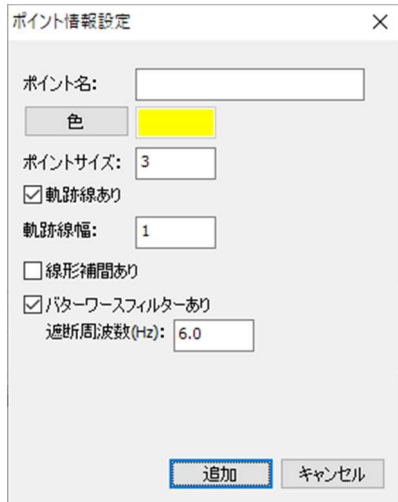
一覧内で選択中のスティックを削除します。

●OKボタン

「5－1．メイン画面」に戻ります。メイン画面を更新します。

5-2-1. ポイント追加ダイアログ

「5-2. 基本情報リストダイアログ」でポイント情報の「追加ボタン」を押したときに現れます。



- ポイント名称

ポイント名称を入力します。

- 色ボタン

ポイント・軌跡線色を設定します。色ボタンをクリックすると色の設定ダイアログが現れ、対話的に色の設定ができます。

- ポイントサイズ

ポイント円のサイズをドット単位で入力します。

- 軌跡線あり

ポイントの軌跡線を表示するかしないかを選択します。

- 軌跡線幅

ポイントの軌跡線幅をドット単位で入力します。

- 線形補間あり

座標未設定のフレームを前後のフレームから線形補間するかしないかを選択します。

- バターワースフィルターあり

座標に対してバターワースローパスフィルターするかしないかを選択します。

- 遮断周波数(Hz)

バターワースローパスフィルターする場合の遮断周波数を入力します。

- 追加ボタン

設定した情報で新たにポイントを追加し、「5-2. 基本情報リストダイアログ」に戻ります。

- キャンセルボタン

追加せずに「5-2. 基本情報リストダイアログ」に戻ります。

5-2-2. ポイント挿入追加ダイアログ

「5-2. 基本情報リストダイアログ」でポイント情報の「挿入追加ボタン」を押したときに現れます。

- ポイント名称

ポイント名称を入力します。

- 色ボタン

ポイント・軌跡線色を設定します。色ボタンをクリックすると色の設定ダイアログが現れ、対話的に色の設定ができます。

- ポイントサイズ

ポイント円のサイズをドット単位で入力します。

- 軌跡線あり

ポイントの軌跡線を表示するかしないかを選択します。

- 軌跡線幅

ポイントの軌跡線幅をドット単位で入力します。

- 線形補間あり

座標未設定のフレームを前後のフレームから線形補間するかしないかを選択します。

- バターワースフィルターあり

座標に対してバターワースローパスフィルターするかしないかを選択します。

- 遮断周波数(Hz)

バターワースローパスフィルターする場合の遮断周波数を入力します。

●挿入位置

ポイントを挿入する位置を選択します。

●挿入追加ボタン

設定した情報で新たにポイントを挿入し、「5－2．基本情報リストダイアログ」に戻ります。

●キャンセルボタン

挿入せずに「5－2．基本情報リストダイアログ」に戻ります。

5-2-3. ポイント修正ダイアログ

「5-2. 基本情報リストダイアログ」でポイント情報の「修正ボタン」を押したときに現れます。

- ポイント名称

ポイント名称を入力します。

- 色ボタン

ポイント・軌跡線色を設定します。色ボタンをクリックすると色の設定ダイアログが現れ、対話的に色の設定ができます。

- ポイントサイズ

ポイント円のサイズをドット単位で入力します。

- 軌跡線あり

ポイントの軌跡線を表示するかしないかを選択します。

- 軌跡線幅

ポイントの軌跡線幅をドット単位で入力します。

- 線形補間あり

座標未設定のフレームを前後のフレームから線形補間するかしないかを選択します。

- バターワースフィルターあり

座標に対してバターワースローパスフィルターするかしないかを選択します。

- 遮断周波数(Hz)

バターワースローパスフィルターする場合の遮断周波数を入力します。

- 修正ボタン

設定した情報でポイントを修正し、「5-2. 基本情報リストダイアログ」に戻ります。

- キャンセルボタン

修正せずに「5-2. 基本情報リストダイアログ」に戻ります。

5-2-4. スティック追加ダイアログ

「5-2. 基本情報リストダイアログ」でスティック情報の「追加ボタン」を押したときに現れます。

スティック情報設定

スティック名:

色

線幅:

表示方法
☒ カレントフレーム ☐ 全フレーム

ポイントリスト:

名前

- スティック名

スティック名称を入力します。

- 色ボタン

スティック色を設定します。色ボタンをクリックすると色の設定ダイアログが現れ、対話的に色の設定ができます。

- 線幅

スティック線幅をドット単位で入力します。

- 表示方法

スティックを表示する方法を「カレントフレーム／全フレーム／なし」から選択します。

- ポイントリストコンボボックス

スティックを構成する新たなポイントをポイント名群から選択し追加します。選択したポイント名はポイント一覧に追加されます。

●削除ボタン

スティックを構成する最後のポイントを削除します。ポイント一覧から削除されます。

●ポイント一覧

スティックを構成するポイントをポイント名群で表示します。

●追加ボタン

設定した情報で新たにスティックを追加し、「5－2．基本情報リストダイアログ」に戻ります。

●キャンセルボタン

追加せずに「5－2．基本情報リストダイアログ」に戻ります。

5-2-5. スティック修正ダイアログ

「5-2. 基本情報リストダイアログ」でスティック情報の「修正ボタン」を押したときに現れます。

名前		
PT1		
PT2		
PT3		

- スティック名

スティック名称を入力します。

- 色ボタン

スティック色を設定します。色ボタンをクリックすると色の設定ダイアログが現れ、対話的に色の設定ができます。

- 線幅

スティック線幅をドット単位で入力します。

- 表示方法

スティックを表示する方法を「カレントフレーム／全フレーム／なし」から選択します。

- ポイントリストコンボボックス

スティックを構成する新たなポイントをポイント名群から選択し追加します。選択したポイント名はポイント一覧に追加されます。

●削除ボタン

スティックを構成する最後のポイントを削除します。ポイント一覧から削除されます。

●ポイント一覧

スティックを構成するポイントをポイント名群で表示します。

●修正ボタン

設定した情報でスティックを修正し、「5－2．基本情報リストダイアログ」に戻ります。

●キャンセルボタン

修正せずに「5－2．基本情報リストダイアログ」に戻ります。

5-3. キャリブレーション設定ダイアログ

「5-1. メイン画面」で「設定(S)-キャリブレーション設定ダイアログ...(C)」を選んだときに現れます。解析オプションが必要です。

メイン画面右 View 上でマウス左クリックすると読み込み座標を更新します。メイン画面右 View 上でマウス右ドラッグ上下で画像の拡大・縮小、マウス両ドラッグで画像の平行移動ができます。

キャリブレーション設定

☐ 2点キャリブレーション
☐ 2線2点キャリブレーション
☒ 4点キャリブレーション(縦横比)

画面座標 x	画面座標 y
152.565	339.745
242.759	338.559
200.629	292.275
202.409	407.984

長さ: (m)

☐ 原点変更: (,)

☐ 2次元DLT

画面座標 x	画面座標 y	実座標 x (m)	実座標 y (m)
111.750	337.258	0.000	0.000
246.331	337.258	1.000	0.000
246.331	200.456	1.000	1.000
111.750	200.456	0.000	1.000

● 2点キャリブレーション

2点キャリブレーションをする場合に選択します。画面座標一覧の1点目と2点目の距離を「長さ」で指定した数値としてキャリブレーションします。(x y 共通) デフォルトの原点座標は静止画左下で、軸の向きはxが右向き yが上向きになります。

● 2線2点キャリブレーション

2線2点キャリブレーションをする場合に選択します。画面座標一覧の1点目と2点目の距離と、3点目と4点目の距離の平均を「長さ」で指定した数値としてキャリブレーションします。(x y 共通) デフォルトの原点座標は静止画左下で、軸の向きはxが右向き yが上向きになります。

● 4点キャリブレーション

4点キャリブレーションをする場合に選択します。画面座標一覧の1点目と2点目のy座標値の差と、3点目と4点目のx座標値の差を「長さ」で指定した数値としてキャリブレーションします。デフォルトの原点座標は静止画左下で、軸の向きはxが右向き yが上向きになります。

◎画面座標 x (座標情報毎)

画面上の x 座標を表示します。

◎画面座標 y (座標情報毎)

画面上の y 座標を表示します。

◎長さ(m)

一覧内の座標情報の実際の長さを入力します。

◎原点座標チェックボタン

原点座標を指定する場合にチェックします。

●2次元D L T

2次元D L Tをする場合に選択します。2次元D L T計算に利用する座標情報一覧が有効になります。

◎画面座標 x (座標情報毎)

画面上の x 座標を表示します。

◎画面座標 y (座標情報毎)

画面上の y 座標を表示します。

◎実座標 x (座標情報毎)

キャリブレーション後の x 座標を入力します。

◎実座標 y (座標情報毎)

キャリブレーション後の y 座標を入力します。

●校正設定ファイルの読込...ボタン

ファイル選択ダイアログが現れ、選択した校正設定ファイルを使って、キャリブレーション設定情報を構築します。

●校正設定ファイルの保存...ボタン

ファイル指定ダイアログが現れ、指定したファイルに校正設定(キャリブレーション設定情報)を出力します。このファイルは Pose-Cap の校正設定ファイルにもなります。

●OKボタン

キャリブレーションの設定を更新して「5-1. メイン画面」に戻ります。メイン画面を更新します。

●キャンセルボタン

キャリブレーションの設定を破棄して「5-1. メイン画面」に戻ります。

5-4. 解析リストダイアログ

「5-1. メイン画面」で「設定(S)-解析設定ダイアログ...(A)」を選んだときに現れます。解析オプションが必要です。キャリブレーションの設定後に使用可能になります。

解析リスト

×

【角度情報】

名前	解析種類	ポイント1	ポイント2	ポイント3	回転方向
AG1	角度	PT1	PT2	PT3	右回り

追加

修正

削除

【傾斜角情報】

名前	ポイント1	ポイント2	回転方向	基準軸
DE1	PT1	PT2	右回り	×軸

追加

修正

削除

【2点間距離情報】

名前	ポイント1	ポイント2
DI1	PT1	PT3

追加

修正

削除

【移動距離/速度情報】

☐FPS指定: 10.000000

名前	解析種類	ポイント
MV1	移動距離	PT1
VE2	速度	PT2

追加

修正

削除

OK

●角度情報

登録済みの角度一覧を表示します。

◎名称（角度毎）

角度名称を表示します。

◎解析種類（角度毎）

解析対象が、角度か角速度かを表示します。

◎ポイント1（角度毎）

角度を構成する最初のポイントのポイント名を表示します。

◎ポイント2（角度毎）

角度を構成する2番目のポイントのポイント名を表示します。

◎ポイント3（角度毎）

角度を構成する 3 番目のポイントのポイント名を表示します。

◎回転方向（角度毎）

右回り・左回りは、角度を求めるための回転方向を表示します。

鋭角は、角度が 180 度を超えない数値を表示します。

◎追加ボタン

新たに角度を追加するために、「5-4-1. 角度追加ダイアログ」に移動します。

◎修正ボタン

一覧内で選択中の角度を修正するために、「5-4-2. 角度修正ダイアログ」に移動します。

◎削除ボタン

一覧内で選択中の角度を削除します。

●傾斜角情報

登録済みの傾斜角一覧を表示します。

◎名称（傾斜角毎）

傾斜角名称を表示します。

◎ポイント 1（傾斜角毎）

傾斜角を構成する最初のポイントのポイント名を表示します。

◎ポイント 2（傾斜角毎）

傾斜角を構成する 2 番目のポイントのポイント名を表示します。

◎回転方向（傾斜角毎）

右回り・左回りは、角度を求めるための回転方向を表示します。

鋭角は、角度が 180 度を超えない数値を表示します。

◎基準軸（傾斜角毎）

基準となる軸が、x 軸か y 軸かを表示します。

◎追加ボタン

新たに傾斜角を追加するために、「5-4-3. 傾斜角追加ダイアログ」に移動します。

◎修正ボタン

一覧内で選択中の角度を修正するために、「5-4-4. 傾斜角修正ダイアログ」に移動します。

◎削除ボタン

一覧内で選択中の傾斜角を削除します。

●2 点間距離情報

登録済みの 2 点間距離一覧を表示します。

◎名称（2 点間距離毎）

2 点間距離名称を表示します。

◎ポイント1（2点間距離毎）

2点間距離を構成する最初のポイントのポイント名を表示します。

◎ポイント2（2点間距離毎）

2点間距離を構成する2番目のポイントのポイント名を表示します。

◎追加ボタン

新たに2点間距離を追加するために、「5－4－5．2点間距離追加ダイアログ」に移動します。

◎修正ボタン

一覧内で選択中の2点間距離を修正するために、「5－4－6．2点間距離修正ダイアログ」に移動します。

◎削除ボタン

一覧内で選択中の2点間距離を削除します。

●移動距離／速度情報

登録済みの移動距離／速度一覧を表示します。

◎名称（移動距離／速度毎）

移動距離／速度名称を表示します。

◎解析種類（移動距離／速度毎）

移動距離か速度かを表示します。

◎ポイント（移動距離／速度毎）

移動距離／速度を計算するポイント名を表示します。

◎追加ボタン

新たに移動距離／速度を追加するために、「5－4－7．移動距離／速度追加ダイアログ」に移動します。

◎修正ボタン

一覧内で選択中の移動距離／速度を修正するために、「5－4－8．移動距離／速度修正ダイアログ」に移動します。

◎削除ボタン

一覧内で選択中の移動距離／速度を削除します。

●FPS指定

動画ファイル内のFPSが正しくない場合に、チェックしてFPS値を設定します。移動速度の計算に利用します。高速カメラ等で動画を撮った場合に必要になります。

●OKボタン

「5－1．メイン画面」に戻ります。メイン画面を更新します。

5-4-1. 角度追加ダイアログ

「5-4. 解析リストダイアログ」で角度情報の「追加ボタン」を押したときに現れます。

- 解析種類

解析対象が、角度か角速度かを選択します。

- 角度名

角度名称を入力します。

- ポイント1 コンボボックス

角度を構成する最初のポイントをポイント名群から選択します。

- ポイント2 コンボボックス

角度を構成する2番目のポイントをポイント名群から選択します。

- ポイント3 コンボボックス

角度を構成する3番目のポイントをポイント名群から選択します。

- 回転方向

角度を求めるための回転方向を「右回り／左回り／鋭角」で選択します。

- 追加ボタン

設定した情報で新たに角度を追加し、「5-4. 解析リストダイアログ」に戻ります。

- キャンセルボタン

追加せずに「5-4. 解析リストダイアログ」に戻ります。

5-4-2. 角度修正ダイアログ

「5-4. 解析リストダイアログ」で角度情報の「修正ボタン」を押したときに現れます。

角度情報設定

解析種類
☒ 角度 ☐ 角速度

角度名: AG1

ポイント: PT1 PT2 PT3

回転方向
☒ 右回り ☐ 左回り ☐ 鋭角

修正 キャンセル

- 解析種類

解析対象が、角度か角速度かを選択します。

- 角度名

角度名称を入力します。

- ポイント1 コンボボックス

角度を構成する最初のポイントをポイント名群から選択します。

- ポイント2 コンボボックス

角度を構成する2番目のポイントをポイント名群から選択します。

- ポイント3 コンボボックス

角度を構成する3番目のポイントをポイント名群から選択します。

- 回転方向

角度を求めるための回転方向を「右回り／左回り／鋭角」で選択します。

- 修正ボタン

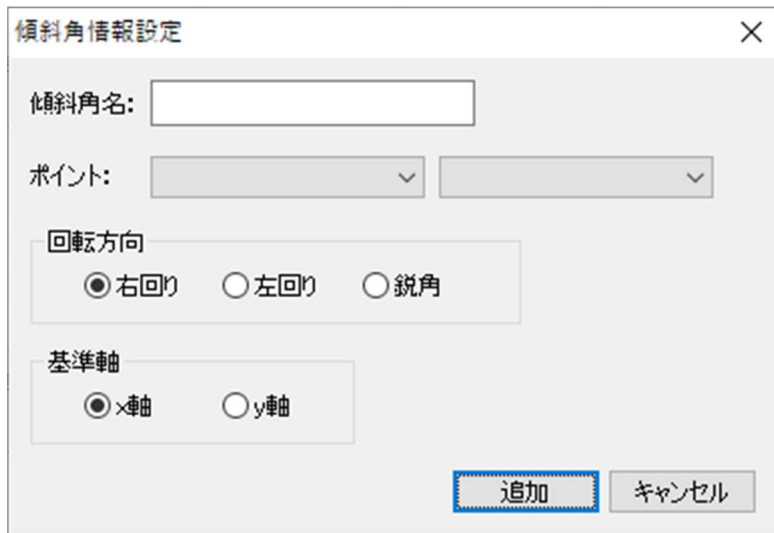
設定した情報で角度を修正し、「5-4. 解析リストダイアログ」に戻ります。

- キャンセルボタン

修正せずに「5-4. 解析リストダイアログ」に戻ります。

5-4-3. 傾斜角追加ダイアログ

「5-4. 解析リストダイアログ」で傾斜角情報の「追加ボタン」を押したときに現れます。



- 解析種類

解析対象が、角度か角速度かを選択します。

- 傾斜角名

傾斜角名称を入力します。

- ポイント1 コンボボックス

傾斜角を構成する最初のポイントをポイント名群から選択します。

- ポイント2 コンボボックス

傾斜角を構成する2番目のポイントをポイント名群から選択します。

- 回転方向

傾斜角を求めるための回転方向を「右回り／左回り／鋭角」で選択します。

- 基準軸

傾斜角の基準となる軸を「x 軸／y 軸」で選択します。

- 追加ボタン

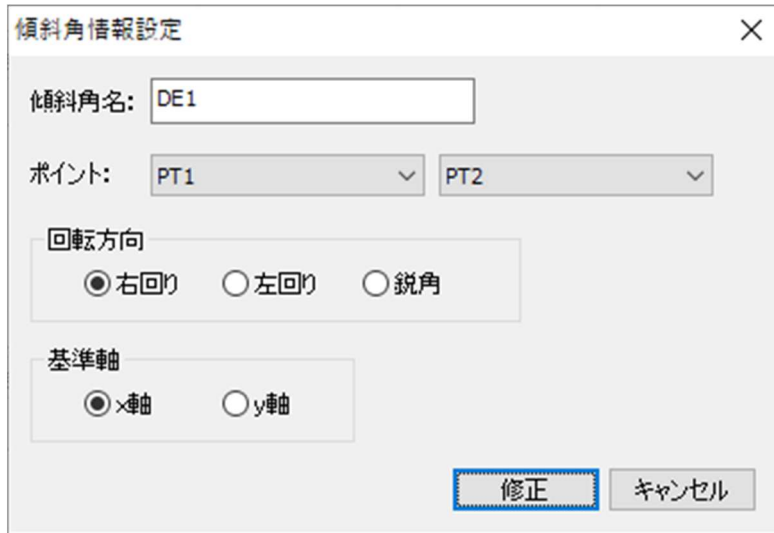
設定した情報で新たに傾斜角を追加し、「5-4. 解析リストダイアログ」に戻ります。

- キャンセルボタン

追加せずに「5-4. 解析リストダイアログ」に戻ります。

5-4-4. 傾斜角修正ダイアログ

「5-4. 解析リストダイアログ」で傾斜角情報の「修正ボタン」を押したときに現れます。



- 傾斜角名

傾斜角名称を入力します。

- ポイント1 コンボボックス

傾斜角を構成する最初のポイントをポイント名群から選択します。

- ポイント2 コンボボックス

傾斜角を構成する2番目のポイントをポイント名群から選択します。

- 回転方向

傾斜角を求めるための回転方向を「右回り／左回り／鋭角」で選択します。

- 基準軸

傾斜角の基準となる軸を「x 軸／y 軸」で選択します。

- 修正ボタン

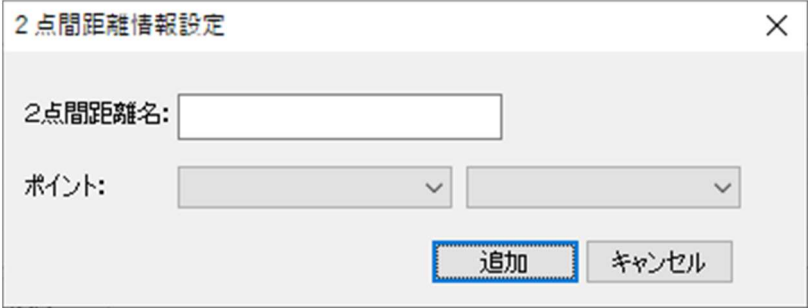
設定した情報で傾斜角を修正し、「5-4. 解析リストダイアログ」に戻ります。

- キャンセルボタン

修正せずに「5-4. 解析リストダイアログ」に戻ります。

5－4－5．2点間距離追加ダイアログ

「5－4．解析リストダイアログ」で2点間距離情報の「追加ボタン」を押したときに現れます。



2点間距離情報設定

2点間距離名:

ポイント:

- 2点間距離名

2点間距離名称を入力します。

- ポイント1 コンボボックス

2点間距離を構成する最初のポイントをポイント名群から選択します。

- ポイント2 コンボボックス

2点間距離を構成する2番目のポイントをポイント名群から選択します。

- 追加ボタン

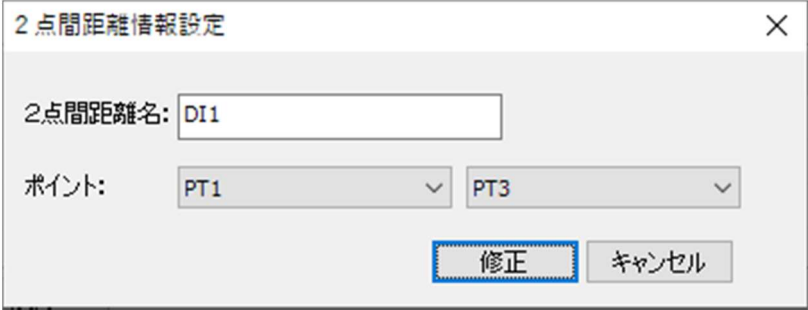
設定した情報で新たに2点間距離を追加し、「5－4．解析リストダイアログ」に戻ります。

- キャンセルボタン

追加せずに「5－4．解析リストダイアログ」に戻ります。

5－4－6．2点間距離修正ダイアログ

「5－4．解析リストダイアログ」で2点間距離情報の「修正ボタン」を押したときに現れます。



2点間距離情報設定

2点間距離名: DI1

ポイント: PT1 PT3

修正 キャンセル

- 2点間距離名

2点間距離名称を入力します。

- ポイント1 コンボボックス

2点間距離を構成する最初のポイントをポイント名群から選択します。

- ポイント2 コンボボックス

2点間距離を構成する2番目のポイントをポイント名群から選択します。

- 修正ボタン

設定した情報で2点間距離を修正し、「5－4．解析リストダイアログ」に戻ります。

- キャンセルボタン

修正せずに「5－4．解析リストダイアログ」に戻ります。

5－4－7．移動距離／速度追加ダイアログ

「5－4．解析リストダイアログ」で移動距離／速度情報の「追加ボタン」を押したときに現れます。

●解析種類

移動距離／速度を選択します。

●名前

移動距離／速度名称を入力します。

●ポイントコンボボックス

移動距離／速度を計算するポイントをポイント名群から選択します。

●追加ボタン

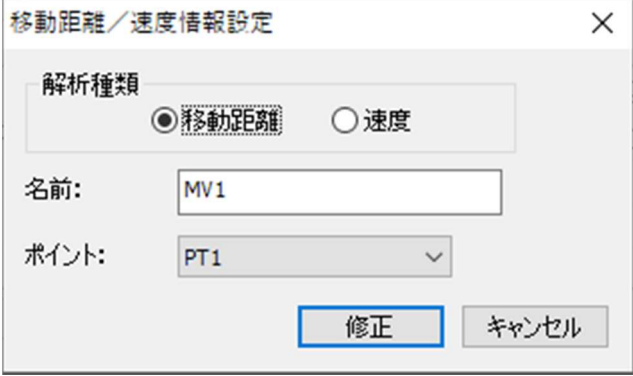
設定した情報で新たに移動距離／速度を追加し、「5－4．解析リストダイアログ」に戻ります。

●キャンセルボタン

追加せずに「5－4．解析リストダイアログ」に戻ります。

5-4-8. 移動距離／速度修正ダイアログ

「5-4. 解析リストダイアログ」で移動距離／速度情報の「修正ボタン」を押したときに現れます。



移動距離／速度情報設定

解析種類
☒ 移動距離 ☐ 速度

名前:

ポイント: ▼

●解析種類

移動距離／速度を選択します。

●名前

移動距離／速度名称を入力します。

●ポイントコンボボックス

移動距離／速度を計算するポイントをポイント名群から選択します。

●修正ボタン

設定した情報で移動距離／速度を修正し、「5-4. 解析リストダイアログ」に戻ります。

●キャンセルボタン

修正せずに「5-4. 解析リストダイアログ」に戻ります。

5-5. 自動デジタイズ設定ダイアログ

デジタイズモード時に「5-1. メイン画面」で「操作(O)-自動デジタイズモード(A)」を選んだ時に現れ、再度選ぶ（または **Esc** キー）と消えます。自動デジタイズオプションが必要です。

- 2 値化の閾値(0-255)

2 値化の閾値を入力します。(1,2 キーを押すと値が増減します。)

- 探索領域サイズ

探索領域（矩形）の大きさを、幅（3,4 キーを押すと値が増減します。）と高さ（5,6 キーを押すと値が増減します。）のドット数で入力します。

- 自動処理開始／停止

スペースキーで自動デジタイズ処理の開始／停止を切り替えます。

- 自動／マニュアル切替

Esc キー（または「5-1. メイン画面」で「操作(O)-自動デジタイズモード(A)」）で本ダイアログが消え自動デジタイズモードから通常のデジタイズモードになります。

5－6．PoseCap 用削除ダイアログ

デジタイズモード時に「5－1．メイン画面」で「操作(O)－PoseCap データの矩形削除(R)」を選んだ時に現れ、再度選ぶ（または Esc キー）と消えます。PoseCap 連携オプションが必要です。



PoseCap用削除ダイアログ

削除領域: 左上(,)

幅: 高さ:

●削除領域

左上座標と幅、高さを表示します。（メイン画面右 View 上でマウสดラッグするとその場所が薄緑の矩形になり、領域を更新します）

●矩形外削除ボタン

全フレームに対して、削除領域（矩形）の中に 1 ポイントでも含まれている人以外の人を、削除します。

●矩形内削除ボタン

全フレームに対して、削除領域（矩形）の中に 1 ポイントでも含まれている人を、削除します。

5-7. デジタイズファイル変換ダイアログ

スタートメニューから「すべてのプログラム-4assist-G-Dig-ファイル変換ソフト」を選択してプログラムを起動します。



●保存先

変換したファイルを保存するフォルダを表示します。

●参照ボタン

フォルダ指定ダイアログが現れるので、変換したファイルを保存するフォルダを指定してください。

●変換選択ラジオボタン

変換方法を指定します。

Digitize → FrameDIAS(SET, ASC) 基本情報を FrameDIAS のテキストデータ (*.set, *.asc)に変換します。

Digitize(解析) → PowerLab(TXT) 解析情報を PowerLab のテキストデータ (*.txt)に変換します。解析オプションが必要です。

●変換ファイル選択...ボタン

ファイル選択ダイアログが現れるので、変換したいファイルを選択して開くボタンをクリックすると変換を開始します。

マウスのドラッグや Ctrl+A で複数のファイル選択が可能です。

●終了ボタン

プログラムを終了します。

6. 入出力ファイルの説明

6-1. ini ファイル

名称 : G-Dig.ini

ファイル形式 : ASCII 文字

アクセス : メイン画面から I N+O U T

1 行目	バージョン番号(#V1.00.01)
2 行目	動画ファイル名(動画ファイル名:)
3 行目	総フレーム数(総フレーム数:1)
4 行目	デジタイズ開始フレーム No.デジタイズ開始フレーム No.:1)
5 行目	デジタイズ終了フレーム No.(デジタイズ終了フレーム No.:0)
6 行目	カレントフレーム No.(カレントフレーム No.:0)
7 行目	デジタイズカーソル移動方向(デジタイズカーソル移動方向:1)
8 行目	デジタイズ結果ファイル名(結果ファイル名:)
9 行目	カレントポイントサイズ(カレントポイントサイズ:10)
1 0 行目	カーソル予測移動(カーソル予測移動:0)
1 1 行目	自動デジタイズダイアログ左位置(自動デジタイズダイアログ左位置:0)
1 2 行目	自動デジタイズダイアログ上位置(自動デジタイズダイアログ上位置 0)
1 3 行目	自動デジタイズダイアログ右位置(自動デジタイズダイアログ右位置:0)
1 4 行目	自動デジタイズダイアログ下位置(自動デジタイズダイアログ下位置:0)
1 5 行目	PoseCap 削除ダイアログ左位置(PoseCap 削除ダイアログ左位置)
1 6 行目	PoseCap 削除ダイアログ上位置(PoseCap 削除ダイアログ上位置)
1 7 行目	PoseCap 削除ダイアログ右位置(PoseCap 削除ダイアログ右位置)
1 8 行目	PoseCap 削除ダイアログ下位置(PoseCap 削除ダイアログ下位置)

6-2. デジタイズ結果ファイル、校正設定ファイル

名称：任意.csv

ファイル形式：ASCII 文字

アクセス：メイン画面から I N+O U T

1 行目	バージョン番号(#V1.00.09)
2 行目	動画ファイル名(動画ファイル名,)
3 行目	デジタイズ開始フレーム No.デジタイズ開始フレーム No.,)
4 行目	デジタイズ終了フレーム No.(デジタイズ終了フレーム No.,)
5 行目	カレントフレーム No.(カレントフレーム No.,)
6 行目	F P S (FPS,)
7 行目	マニュアル FPS フラグ(マニュアル FPS フラグ,0:なし, 1:あり)
8 行目	マニュアル FPS(マニュアル FPS,)
9 行目	自動デジタイズデフォルト 2 値化の閾値(自動デジタイズデフォルト 2 値化の閾値,0-255,)
1 0 行目	自動デジタイズデフォルト探索方式タイプ(自動デジタイズデフォルト探索方式タイプ,1,)
1 1 行目	自動デジタイズデフォルト探索エリアサイズ x (自動デジタイズデフォルト探索エリアサイズ x,20,)
1 2 行目	自動デジタイズデフォルト探索エリアサイズ y (自動デジタイズデフォルト探索エリアサイズ y,20,)
1 3 行目	【空行】
1 4 行目	キャリブレーション種別(キャリブレーション種別,0:なし, 1:4 点 C A L, 2:2 次元 D L T)
1 5 行目	キャリブレーションサブ種別(キャリブレーションサブ種別,0:キャリブレーション種別の通り, [キャリブレーション種別=4 点 C A L]1:2 点 C A L, 2:2 線 2 点 C A L)
1 6 行目	【空行】
1 7 行目	4 点 C A L x y 軸向き(4 点 C A L x y 軸向き, (0:X=左, 1:X=右), (0:Y=上, 1:Y=下))
1 8 行目	4 点 C A L 基準長(m) x y (4 点 C A L 基準長(m) x y, 0<:X 用, 0<:Y 用)
1 9 行目	4 点 C A L 画像上の原点指定フラグ(4 点 C A L 画像上の原点指定フラグ,0:なし, 1:あり)
2 0 行目	4 点 C A L 画像上の原点 x y 座標(4 点 C A L 画像上の原点 x y 座標,0 ~,0~)
2 1 行目	4 点 C A L 画像上の座標数(4 点 C A L 画像上の座標数, 4)
2 2 行目	No.,画像上の x 座標,画像上の y 座標,

2 2 + 4 点 C A L 画像上の座標数 (以下の情報を 4 点 C A L 画像上の座標数分繰り返す)

1 行目 1, 画像上の x 座標, 画像上の y 座標,

2 行目 2, 画像上の x 座標, 画像上の y 座標,

:

:

2 7 行目 【空行】

2 8 行目 2 次元 D L T 座標数(2 次元 D L T 座標数, 4)

2 9 行目 No., 画像上の x 座標, 画像上の y 座標, 実際の x 座標, 実際の y 座標,

2 9 + 2 次元 D L T 座標数 (以下の情報を 2 次元 D L T 座標数分繰り返す)

1 行目 1, 画像上の x 座標, 画像上の y 座標, 実際の x 座標, 実際の y 座標,

2 行目 2, 画像上の x 座標, 画像上の y 座標, 実際の x 座標, 実際の y 座標,

:

:

3 4 行目 【空行】

3 5 行目 ポイント情報の数(ポイント情報,)

3 6 行目 No., 非表示, 名前, 色 (赤) , 色 (緑) , 色 (青) , ポイントサイズ (直径) , 軌跡線フラグ, 軌跡線幅, 備考, フィルタータイプ, 遮断周波数 1 , 遮断周波数 2 , 補正タイプ,

3 6 + ポイント情報の数 (以下の情報をポイント情報の数分繰り返す)

1 行目 1, (0:表示/1:非表示), ポイント名, 赤色(1~255), 緑色(1~255), 青色(1~255), 直径(1~), 軌跡線(0:なし/1:あり), 軌跡線幅(1~), PoseCap 情報他, フィルタータイプ(0:なし, 1:2 次バターワースフィルター), 遮断周波数 1 (0~), 遮断周波数 2 (0), 補正タイプ(0:なし, 1:線形補間),

2 行目 2, (0:表示/1:非表示), ポイント名, 赤色(1~255), 緑色(1~255), 青色(1~255), 直径(1~), 軌跡線(0:なし/1:あり), 軌跡線幅(1~), PoseCap 情報他, フィルタータイプ(0:なし, 1:2 次バターワースフィルター), 遮断周波数 1 (0~), 遮断周波数 2 (0), 補正タイプ(0:なし, 1:線形補間),

:

:

m 行目 【空行】

m + 1 行目 スティック情報の数(スティック情報,)

m + 2 行目 No., 非表示, 名前, 線色 (赤) , 線色 (緑) , 線色 (青) , 線幅, 表示方法 (0:なし, 1:カレントフレーム, 2:全フレーム) , ポイント数,

m + 2 + スティック情報の数 (以下の情報をスティック情報の数分繰り返す)

1 行目 1, (0:表示/1:非表示), スティック名, 赤色(1~255),緑色(1~255),青色(1~255), 線幅(1~),表示方法(0:なし/1:カレントフレーム/2:全フレーム),ポイント数(1~),ポイント 1,...,

2 行目 2, (0:表示/1:非表示), スティック名, 赤色(1~255),緑色(1~255),青色(1~255), 線幅(1~),表示方法(0:なし/1:カレントフレーム/2:全フレーム),ポイント数(1~),ポイント 1,...,

 :

 :

n 行目 【空行】

n + 1 行目 角度情報の数(角度情報,)

n + 2 行目 No.,非表示,名前,解析種類 (1:角度, 2:角速度) ,回転方向 (1:右回り, 2:左回り, 3:鋭角) ,ポイント数,

n + 2 + 角度情報の数 (以下の情報を角度情報の数分繰り返す)

1 行目 1, (0:表示/1:非表示), 角度名, 解析種類 (1:角度, 2:角速度) ,回転方向 (1:右回り, 2:左回り, 3:鋭角) ,ポイント数(3),ポイント 1,...,

2 行目 2, (0:表示/1:非表示), 角度名, 解析種類 (1:角度, 2:角速度) ,回転方向 (1:右回り, 2:左回り, 3:鋭角) ,ポイント数(3),ポイント 1,...,

 :

 :

p 行目 【空行】

p + 1 行目 傾斜角情報の数(傾斜角情報,)

p + 2 行目 No.,非表示,名前,解析種類 (1:傾斜角) ,回転方向 (1:右回り, 2:左回り, 3:鋭角) ,基準軸 (1:x 軸, 2:y 軸) ,ポイント数,

p + 2 + 傾斜角情報の数 (以下の情報を傾斜角情報の数分繰り返す)

1 行目 1, (0:表示/1:非表示), 傾斜角名, 解析種類 (1:傾斜角) ,回転方向 (1:右回り, 2:左回り, 3:鋭角) ,基準軸 (1:x 軸, 2:y 軸) ,ポイント数(2),ポイント 1,...,

2 行目 2, (0:表示/1:非表示), 傾斜角名, 解析種類 (1:傾斜角) ,回転方向 (1:右回り, 2:左回り, 3:鋭角) ,基準軸 (1:x 軸, 2:y 軸) ,ポイント数(2),ポイント 1,...,

 :

 :

q 行目 【空行】

q + 1 行目 2 点間距離情報の数(2 点間距離情報,)

q + 2 行目 No.,非表示,名前,解析種類 (1:2 点間距離) ,ポイント数,

q + 2 + 2 点間距離情報の数 (以下の情報を 2 点間距離情報の数分繰り返す)

1 行目 1, (0:表示/1:非表示), 2 点間距離名, 解析種類 (1:2 点間距離) ,ポイント数(2),ポイント 1,...,

2 行目 2, (0:表示/1:非表示), 2 点間距離名, 解析種類 (1:2 点間距離), ポイント
数(2), ポイント 1, ...,

⋮
⋮

r 行目 【空行】

r + 1 行目 移動距離／速度情報の数(移動距離／速度情報,)

r + 2 行目 No., 非表示, 名前, 解析種類 (1:移動距離, 2:移動速度), ポイント No.,

r + 2 + 移動距離／速度情報の数 (以下の情報を移動距離／速度情報の数分繰
り返す)

1 行目 1, (0:表示/1:非表示), 移動距離／速度名, 解析種類 (1:移動距離, 2:移動速
度), ポイント No.,

2 行目 2, (0:表示/1:非表示), 移動距離／速度名, 解析種類 (1:移動距離, 2:移動速
度), ポイント No.,

⋮
⋮

s 行目 【空行】

s + 1 行目 自動デジタイズ情報の数(自動デジタイズ情報, 0)

s + 2 行目 No., ポイント番号, 2 値化の閾値, 探索方式タイプ, 探索エリアタイプ, 初期
探索エリア左上 x 座標, 初期探索エリア左上 y 座標, 初期探索エリア右下 x 座標, 初期探索エ
リア右下 y 座標, 自動デジタイズ開始フレーム No., 自動デジタイズ終了フレーム No., 自動
デジタイズカレントフレーム No.,

s + 3 行目 【空行】

s + 4 行目 座標データの数(座標データ,)

s + 5 行目 No., ポイント名 1 (x), ポイント名 1 (y), ポイント名 2 (x), ポイント名 2
(y), ...

s + 5 + 座標データの数 (以下の情報を座標データの数分繰り返す)

1 行目 1, ポイント 1 の画像上の x 座標, ポイント 1 の画像上の y 座標, ポイント
2 の画像上の x 座標, ポイント 2 の画像上の y 座標, ...,

2 行目 2, ポイント 1 の画像上の x 座標, ポイント 1 の画像上の y 座標, ポイント
2 の画像上の x 座標, ポイント 2 の画像上の y 座標, ...,

⋮
⋮

6-3. 骨格設定ファイル

名称：任意.csv

ファイル形式：ASCII 文字

アクセス：メイン画面からOUT

1 行目 ポイント情報(ポイント情報,)

2 行目 削除フラグ,非表示フラグ,名前,番号,色(赤),色(緑),色(青),ポイントサイズ(直径),軌跡線フラグ,軌跡線幅,線形補間フラグ,フィルターフラグ,遮断周波数,
2 + ポイント情報の数 (以下の情報をポイント情報の数分繰り返す)

1 行目 削除(なし:なし/n:削除), 非表示(なし:表示/n:非表示), ポイント名, 番号
(1~), 赤色(1~255), 緑色(1~255), 青色(1~255), 直径(1~), 軌跡線(なし:なし/on:あり),
軌跡線幅(1~), 線形補間(なし:なし/on:あり),フィルター(なし:なし/on:2次バターワースフ
ィルター),遮断周波数(0~),

2 行目 削除(なし:なし/n:削除), 非表示(なし:表示/n:非表示), ポイント名, 赤色(1
~255), 緑色(1~255), 青色(1~255), 直径(1~), 軌跡線(なし:なし/on:あり), 軌跡線幅(1
~), 線形補間(なし:なし/on:あり),フィルター(なし:なし/on:2次バターワースフィルター),
遮断周波数(0~),

 :

 :

m 行目 【空行】

m + 1 行目 スティック情報(スティック情報,)

m + 2 行目 削除フラグ,非表示フラグ,名前,線色(赤),線色(緑),線色(青),線幅,
表示方法(0:なし;1:カレントフレーム;2:全フレーム),ポイント列,,,

m + 2 + スティック情報の数 (以下の情報をスティック情報の数分繰り返す)

1 行目 削除(なし:なし/n:削除), 非表示(なし:表示/n:非表示), スティック名, 赤
色(1~255), 緑色(1~255), 青色(1~255), 線幅(1~), 表示方法(0:なし/1:カレントフレーム
/2:全フレーム), ポイント名 1,...,

2 行目 削除(なし:なし/n:削除), 非表示(なし:表示/n:非表示), スティック名, 赤
色(1~255), 緑色(1~255), 青色(1~255), 線幅(1~), 表示方法(0:なし/1:カレントフレーム
/2:全フレーム), ポイント名 1,...,

 :

 :

n 行目 【空行】

n + 1 行目 角度情報(3点角度情報,)

n + 2 行目 削除フラグ, 非表示フラグ, 名前, 解析種類(1:角度;2:角速度), 回転方
向(1:右回り;2:左回り;3:鋭角), ポイント 1, ポイント 2, ポイント 3,
n + 2 + 角度情報の数 (以下の情報を角度情報の数分繰り返す)

1 行目 削除(なし:なし/n:削除), 非表示(なし:表示/n:非表示), 角度名, 解析種類 (1:角度, 2:角速度), 回転方向 (1:右回り, 2:左回り, 3:鋭角), ポイント名 1, ポイント名 2, ポイント名 3,

2 行目 削除(なし:なし/n:削除), 非表示(なし:表示/n:非表示), 角度名, 解析種類 (1:角度, 2:角速度), 回転方向 (1:右回り, 2:左回り, 3:鋭角), ポイント名 1, ポイント名 2, ポイント名 3,

:
:

p 行目 【空行】

p + 1 行目 傾斜角情報(2 点傾斜角情報,)

p + 2 行目 削除フラグ,非表示フラグ,名前,解析種類 (1:傾斜角),回転方向 (1:右回り; 2:左回り; 3:鋭角),基準方向 (1:x 軸; 2:y 軸),ポイント 1,ポイント 2,

p + 2 + 傾斜角情報の数 (以下の情報を傾斜角情報の数分繰り返す)

1 行目 削除(なし:なし/n:削除), 非表示(なし:表示/n:非表示), 傾斜角名, 解析種類 (1:傾斜角), 回転方向 (1:右回り, 2:左回り, 3:鋭角), 基準軸 (1: x 軸, 2: y 軸), ポイント名 1, ポイント名 2,

2 行目 削除(なし:なし/n:削除), 非表示(なし:表示/n:非表示), 傾斜角名, 解析種類 (1:傾斜角), 回転方向 (1:右回り, 2:左回り, 3:鋭角), 基準軸 (1: x 軸, 2: y 軸), ポイント名 1, ポイント名 2,

:
:

q 行目 【空行】

q + 1 行目 2 点間距離情報(2 点間距離情報,)

q + 2 行目 削除フラグ,非表示フラグ,名前,解析種類 (1:2 点間距離),ポイント 1,ポイント 2,

q + 2 + 2 点間距離情報の数 (以下の情報を 2 点間距離情報の数分繰り返す)

1 行目 削除(なし:なし/n:削除), 非表示(なし:表示/n:非表示), 2 点間距離名, 解析種類 (1:2 点間距離), ポイント名 1, ポイント名 2,

2 行目 削除(なし:なし/n:削除), 非表示(なし:表示/n:非表示), 2 点間距離名, 解析種類 (1:2 点間距離), ポイント名 1, ポイント名 2,

:
:

r 行目 【空行】

r + 1 行目 移動距離/速度情報(移動距離/速度情報,)

r + 2 行目 削除フラグ,非表示フラグ,名前,解析種類 (1:移動距離; 2:速度),ポイント 1,

$r + 2 + \text{移動距離／速度情報の数}$ (以下の情報を移動距離／速度情報の数分繰り返す)

1 行目 削除(なし:なし/**n**:削除), 非表示(なし:表示/**n**:非表示), 移動距離／速度名,
解析種類 (1:移動距離, 2:移動速度), ポイント名 1,

2 行目 削除(なし:なし/**n**:削除), 非表示(なし:表示/**n**:非表示), 移動距離／速度名,
解析種類 (1:移動距離, 2:移動速度), ポイント名 1,

⋮
⋮

6-4. 解析情報エクスポートファイル

名称：任意.csv

ファイル形式：ASCII 文字

アクセス：メイン画面からOUT

- 1行目 バージョン番号(#V1.00.01)
- 2行目 チャンネル数 (#ChNumber=,1~)
- 3行目 データ数 (#DataNumber=,1~)
- 4行目 サンプリング間隔 (Interval=,0.0001~ s)
- 5行目 チャンネル情報 (ChannelTitle=,Ch 1,Ch 2,...)
- 6行目 チャンネル毎の最大値と工学単位 (Range=,10.000 V,10.000 V,...)
- 6+計測データ数 (以下の情報が計測データ数分繰り返す)

1行目 開始時間からの時間、1chの値、2chの値...、8chの値

0.0,0.000,0.000,0.000,0.000,0.000,0.000,0.000,0.000

0.0001,3.200,0.852,3.200,0.852,3.200,0.852,3.200,0.852

0.0002,2.110,1.020,2.110,1.020,2.110,1.020,2.110,1.020

0.0003,-2.420,1.007,-2.420,1.007,-2.420,1.007,-2.420,1.007

:

:

6-5. 動画ファイル

名称：*.avi

ファイル形式：Binary

エラー番号：

アクセス：メイン画面からIN

6-6. 静止画ファイル

名称：*.jpg/*.tif/*.gif/*.png/*.wmp/*.bmp

ファイル形式：Binary

エラー番号：

アクセス：メイン画面からOUT

- V1.13
「ファイル(F)－新規(N)」の時に、デフォルトの設定(PT1, PT2, PT3, ST1)をしていない不具合に対応。
タイトルバーのファイル名表示上の不具合に対応。
デジタルサイズファイル変換ソフトの不具合に対応。
- V1.12
「校正設定ファイルの読み込み」ができない不具合に対応。(対象バージョン: V1.10～V1.11)
- V1.11
「新規」機能で完全にクリアできていなかった不具合に対応。
- V1.10
Pose-Cap利用時の「G-Dig2 座標修正ソフト」にタイトルバーとバージョン情報ダイアログで対応。
表示上の不具合に対応。
- V1.09
解析ファイル出力でチャンネル名の16文字上限を無くした。
- V1.08
新規画面機能と上書き保存機能を追加。
骨格設定ファイルの入出力機能を追加。
ポイント情報のリンクを含めた削除機能を追加。
- V1.07(ファイルバージョンV1.00.09)
開始コマと終了コマを変更するとプログラムが異常終了する、不具合に対応。(対象バージョン: V1.04～V1.06)
フレーム数が8以下の場合に値が表示されない、不具合に対応。(対象バージョン: V1.04～V1.06)
ポイント情報ダイアログで線形補間を独立機能に変更。
- V1.06
基本情報リストダイアログのポイント情報に「フィルター」「線形補間」「遮断周波数(Hz)」の欄を追加。
- V1.05
キャリブレーション設定ダイアログに「校正ファイルの読み込み」「校正ファイルの保存」の機能を追加。
一定の条件下で結果ファイルの読み込みに失敗する、不具合に対応。(対象バージョン: V1.03n～V1.04)
- V1.04
ポイント情報にローパスフィルター機能を追加。(デジタルサイズモードは元座標、通常モードはフィルター後座標を表示します。)
表示上の不具合に対応。
- V1.03n
キャリブレーションモードの時に2線2点キャリブレーションに対応。
解析情報に2点傾斜角を追加。
表示上の不具合に対応。
- V1.03m
角度表示の「鋭角」のバグ対応。
- V1.03l
キャリブレーションモードの時に2点キャリブレーションに対応。
デジタルサイズモードの時に左表上でDeleteキーを押すとデータを1コマ分削除することに対応。
角度表示の「鋭角」対応。
- V1.03k
デジタルサイズモードのPoseCapデータの矩形削除機能の矩形指定不具合に対応。
- V1.03j
ツールバーの表示／非表示メニューを「ヘルプ(H)－Toolbarの表示(T)」に追加しました。
デジタルサイズモードのPoseCapデータの矩形削除機能の不具合に対応。
- V1.03i
デジタルサイズモードのPoseCapデータ対応機能をメニュー、ツールバーから選択できるように対応。
デジタルサイズモードのPoseCapデータの削除機能の不具合に対応。
- V1.03h
デジタルサイズモードのPoseCapデータの削除機能が、ドングル対応漏れしていた不具合に対応。
- V1.03g

デジタイズモードでPoseCapデータの削除機能を実行すると、左表の解析情報が表示しなくなる不具合に対応。

ポイント情報に備考項目を追加。

Excel、Libreで保存した結果ファイルが読み込めない不具合に対応。

V1.03f

デジタイズモードで' a' でカレントポイントの腕座標情報を左右入れ替える。

デジタイズモードで' f' でカレントポイントの脚座標情報を左右入れ替える。

デジタイズモードでF1でカレントポイントの人座標情報と1番の人座標情報を入れ替える。

デジタイズモードでF2でカレントポイントの人座標情報と2番の人座標情報を入れ替える。

デジタイズモードでF8で1番と2番の人情報以外を削除する。

デジタイズモードでF9で1番の人情報以外を削除する。

デジタイズモードでPoseCapデータの削除機能を追加。

角度情報に解析種別を追加 (1:角度、2:角速度)

V1.03e

画面描画速度の改善。

デジタイズモードでShift+左クリックでカレントポイントの変更+左表に表示。

デジタイズモードでShift+右クリックで対象ポイントの軌跡表示の有無を変更。

V1.03d

引数渡しでファイル読込機能を追加。

Pose-Cap解析結果ファイルの読込を削除。

V1.03c

Pose-Cap解析結果ファイルの読込を追加。

MotionJPEGファイルの読み込みに対応。

V1.03b

基本情報リストダイアログのポイント情報に挿入追加ボタンを追加。

解析情報エクスポートの不具合に対応。

V1.03a

操作 (O)-座標と画像のクリア (C) を選んだ後に、確認ダイアログを出すように改善。

V1.03

自動デジタイズ機能を追加。

一部のmovファイルに対応。

表示上の不具合に対応。

V1.02k

表示上の不具合に対応。

V1.02j

ファイルの解析情報エクスポートで1行出力領域上限を5 1 2から6 5 5 3 6に改善。

V1.02i

ファイルの解析情報エクスポートでチャンネル上限を3 2から4 0 9 6に改善。

V1.02h

キャリブレーションの2次元DLTで逆行列が無くて計算に失敗しないように対応。

V1.02g

動画ファイルが指定場所がない時に選択しなおせるように対応。

V1.02f

結果ファイルのアニメーションファイルの情報を絶対パスから相対パスに変更。

結果ファイルをExcelで上書き保存した場合に、開けなくなる不具合に対応。

V1.02e

デジタイズ時のカーソル予測移動機能を追加。

V1.02d

動画ファイルが存在しない時に出るダイアログをわかりやすくした。

V1.02c

結果ファイルの入出力時の不具合に対応。

V1.02b

解析設定ダイアログを小さく対応。

V1.02a

カレントマークの大きさを変えられるように対応。

動画ファイル名を画面下部に表示するように対応。
aviファイルで使用手引書で明記している全てのCODECが読めるように対応。
動画面なしのスティックのみの画像出力に対応。

V1.02

キャリブレーション機能を追加。
解析設定機能を追加。